Apice DIGITAL AUDIO

取扱説明書
Operation Manual

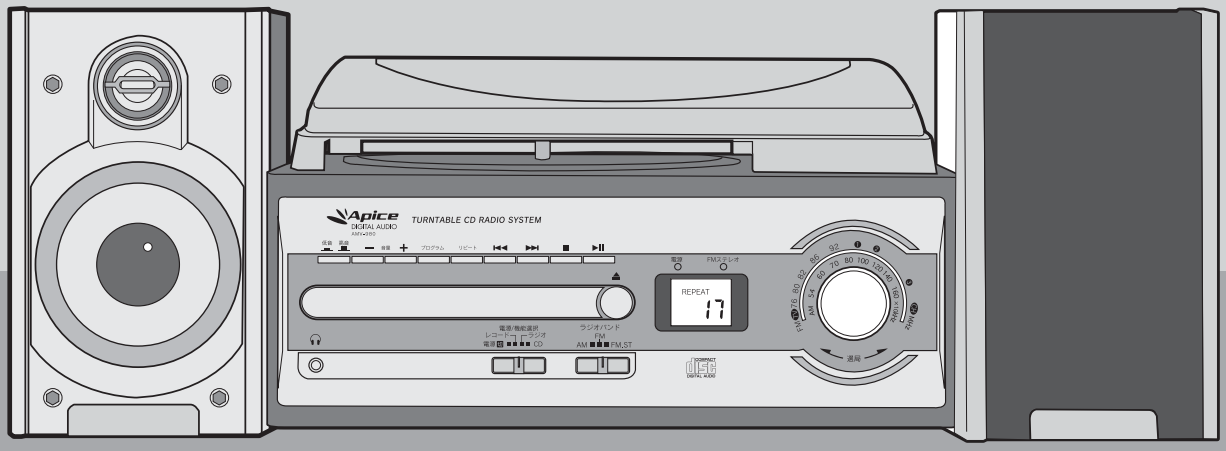
この取扱説明書には保証書がついています。必ず記入をお受け下さい。

レコードCDラジオコンポ
品番 AMV-980

保証書付
保証書はこの取扱説明書の末尾についています。

●この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
●この取扱説明書と保証書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
●お読みになった後も、すぐ見られる場所に大切に保管して下さい。
●保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので「お買上げ日・販売店名」等の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。

ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読み下さい。



この製品は日本国内でのみご使用になれます。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country.

●イラストと実際の商品は若干、異なる場合があります。

安全上のご注意

※ ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指を挟まれないよう注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）をコンセント（シガレットライターソケット）から抜け）が描かれています。

・この「安全上のご注意」はオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
・各説明項目の中には取扱説明書と重複している内容もあります。

⚠ 警告	
	万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）をコンセント（シガレットライターソケット）から抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼下さい。
	万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）をコンセント（シガレットライターソケット）から抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意下さい。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意下さい。
	風呂場などの水場では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
	この機器の開口部（通気口など）から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

安全上のご注意

	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は機器本体の電源を切り、電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）をコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	この機器を分解・改造をしないで下さい。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないで下さい。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や低部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないで下さい。 ・あおむけや横倒し、逆さまにする。 ・押し入れ、本箱等風通しの悪い狭い所に押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
	この機器を設置する場合は、壁から１０ｃｍ以上の間隔を置いて下さい。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いて下さい。ラックなどに入れる時は、機器の天面から１０ｃｍ以上、背面から１０ｃｍ以上のすき間をあけて下さい。内部に熱がこもり火災の原因となります。
	この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または、小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないで下さい。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼下さい。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードの上に重いもの（家具、置きもの、敷物など）をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにして下さい。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。）
	電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加工しないで下さい。火災・感電の原因となります。
	ＡＣアウトレット（電源コンセント）付機器のみ この機器のＡＣアウトレットが供給できる電力は制限されています。接続する消費電力の合計がＡＣアウトレットに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。ヒーター、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。
	この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電源電圧以外では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

	調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないで下さい。火災·感電の原因となることがあります。
	電源コードを熱器具に近付けないで下さい。コードの被ふくが溶けて、火災·感電の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災·感電の原因となることがあります。
	この機器をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）をコンセントから抜いて下さい。
	２～３年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談下さい。この機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をせず使用し続けると火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談下さい。
	移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）をコンセントから抜き、機器間の接続線を外してから行なって下さい。コードが傷つき、火災·感電の原因となることがあります。
	濡れた手で電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）を抜き差ししないで下さい。感電の原因となることがあります。
	電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）を抜く時は、電源コードを引っ張らないで下さい。コードに傷がつき火災·感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ（ＡＣアダプター、バッテリーコード）を持って抜いて下さい。
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
	強い衝撃を与えないでください。 故障の原因になります。
	お子様が誤ってレコード針などに触れないようご注意下さい。 ケガをする恐れがあります。
	旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。
	テレビなどの機器を接続する場合は、まず電源を切り、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続して下さい。また、接続は指定のコードを使用して下さい。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
	直射日光があたる場所や熱器具の近くに置くと、キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意下さい。

その他のご注意

CDに関するご注意

・本製品は円形状の<シングル/アルバムサイズ>ディスクを再生することができます。

CD-R/CD-RWについて

・本製品はCD-DAフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクの種類や、使用したレコーダーの状態、フォーマットの種類によって再生できない場合があります。
CD-DAはCompact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格。

・CD-R/CD-RWは、ファイナライズ処理（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）されていないディスクは本製品では再生できません。
・CD-R/CD-RWは、レコーダーの書き込み処理や状態によって雑音や音飛び、認識されない場合があります。
・VCDは再生できません。
・著作権法を違反するものは使用しないで下さい。詳しくは「日本音楽著作権協会」にお尋ね下さい。
・CDのキズ、歪み、厚み等により、再生できない場合があります。

CDの取扱い

CDの取扱について

・CDは、下面の印刷や文字の書かれていない面に触れないように取り扱って下さい。
・紙やシールを貼ったり、傷をつけたりしないようにして下さい。再生できない場合があります。

CDのお手入れのしかた

・指紋や手あか汚れ、ホコリの付着などは音質低下の原因になりますので、いつもきれいにお手入れを行って下さい。
・CD面をやわらかい布や専用のCDクリーナーでCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。
※専用のCDクリーナーを使用する際は、注意書に従って下さい。
・水気がついている場合は、よく拭き取ってから使用して下さい。
・ベンジンやシンナー、静電気防止剤、食器用洗剤などはCDを傷めることがありますので使用しないで下さい。

＜レコードに関するご注意＞

●大切なレコードを使用する場合は、取扱いに十分注意して下さい。

本製品は、モダン調に開発した簡易レコードプレーヤーですので、大切なレコードや経年劣化による変形（波のある）したレコードは、その他のレコードでテスト再生して確認してからお使いください。取扱いを間違えるとキズなどがつく場合があります。レコードのキズなどの補償は致しかねます。

●レコード演奏時に「ワーン」という音が出た場合（ハウリング現象）音量を調節してください。
●レコード演奏中は、震動・衝撃を与えない様にご注意下さい。
●レコードを交換する時は、ターンテーブルが完全に止まってから行って下さい。

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池による液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、次のことをお守りください。

⚠警告
- 火中への投入、加熱、分解をしない。
- ショートさせない。
- 充電しない。

⚠注意
- ⊕、⊖の表示どおりに入れる。
- 指定以外の電池を使わない。
- 種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- 使い切った電池はすぐに取り出す。
- しばらく使わないときは取り出しておく。

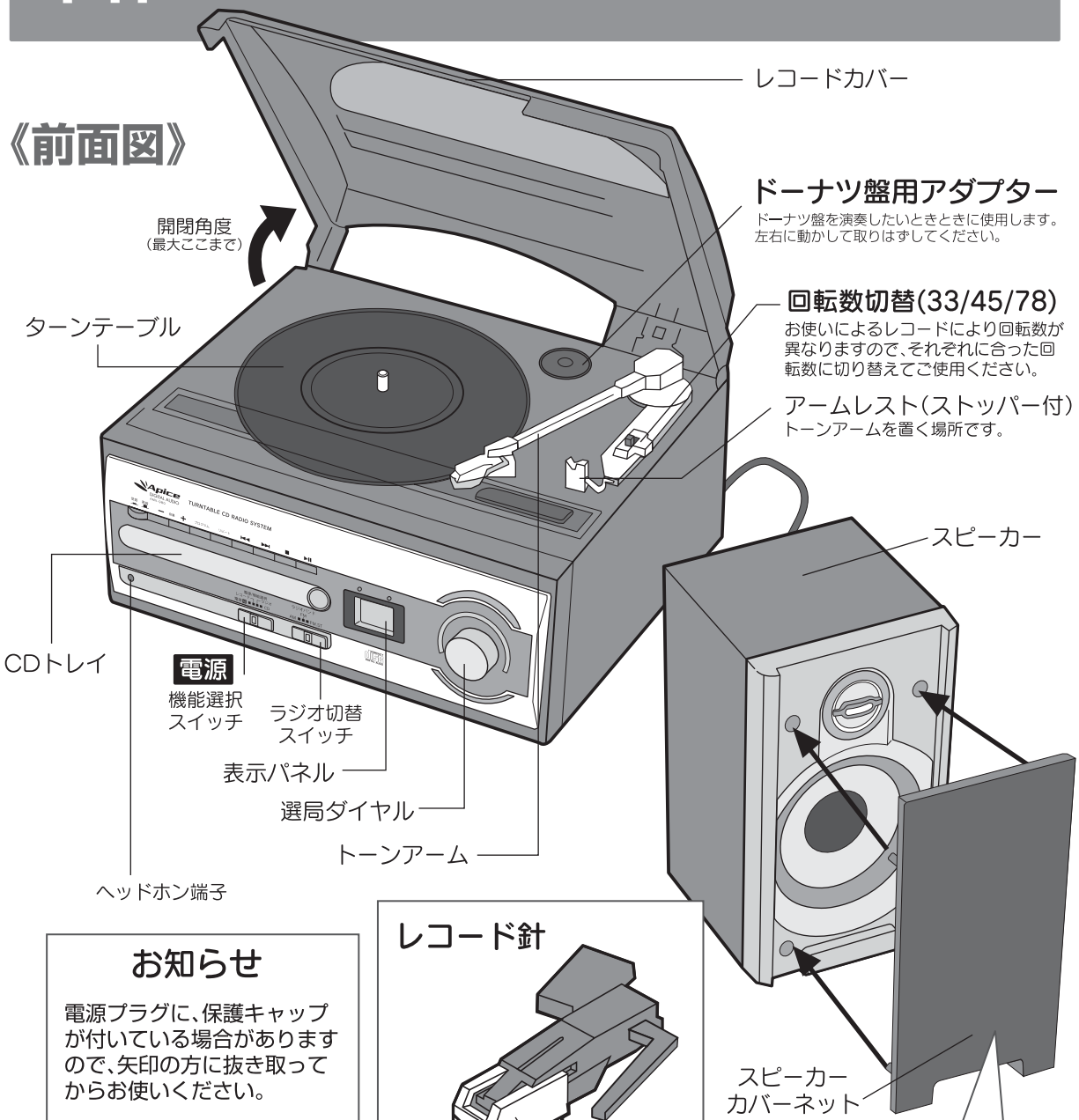
万一、液もれしたら

液をよくふき取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流してください。

各部のなまえとはたらき

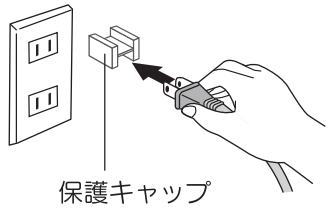
本体

《前面図》

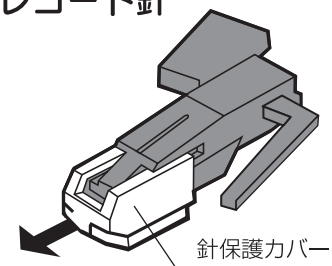


お知らせ

電源プラグに、保護キャップが付いている場合がありますので、矢印の方に抜き取ってからお使いください。



レコード針



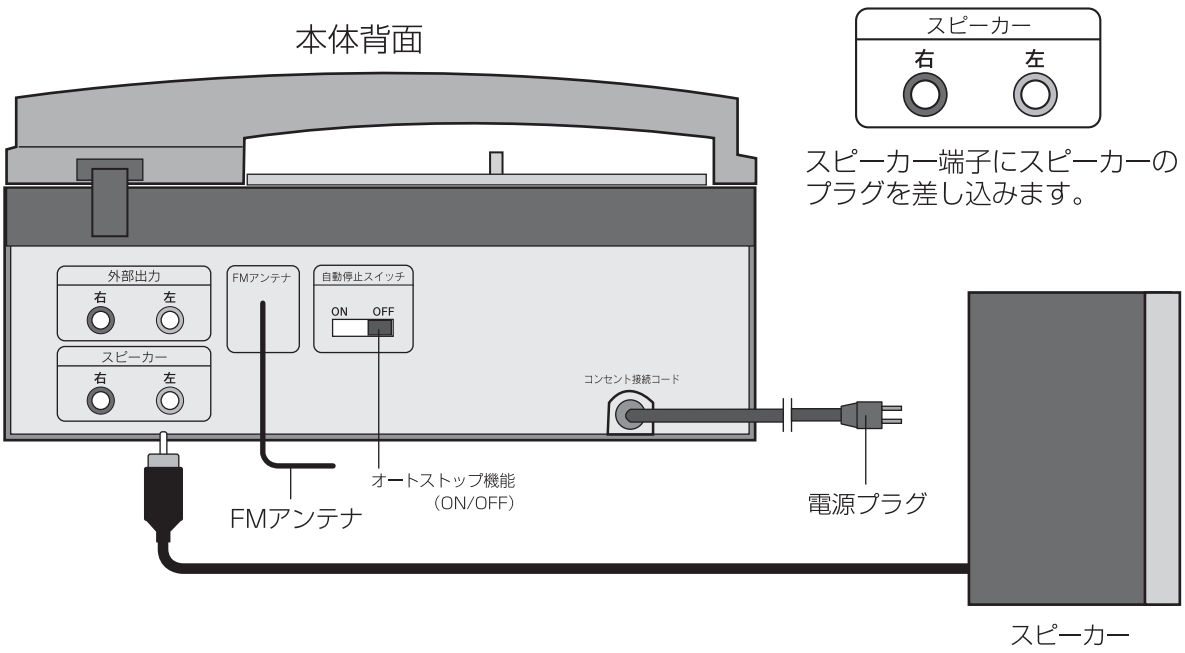
必ず、この白色の針保護カバーを手前に引き、抜き取ってからご使用してください。

ホコリなどが気になる方は、スピーカーにカバーネットを取り付けてご使用ください。

（塵やホコリ付着防止のため、音への影響を軽減させます）

ご使用前の準備

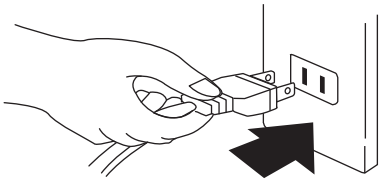
スピーカーの取付け



電源を準備する

・必ずAC100Vの家庭用コンセントに確実に差し込んでください。
・旅行などで長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いて下さい。
・野外や湿度の高い場所では使用しないで下さい。
電源プラグや端子部分が錆びたり、感電する場合があり大変危険です。

電源コード



AC100V電源のコンセントにしっかりと奥まで差し込む。

FMアンテナ

●FMアンテナリード線は、受信状態の良い方向に固定します。（セロテープやフック等）
●AMアンテナは、本体内蔵型ですので受信状態の良い方向に本体の向きや場所を変えてください。

オートストップ機能

●レコードが最後まで演奏したら、自動で停止させる機能です。ON／OFFを切り替えて選べます。

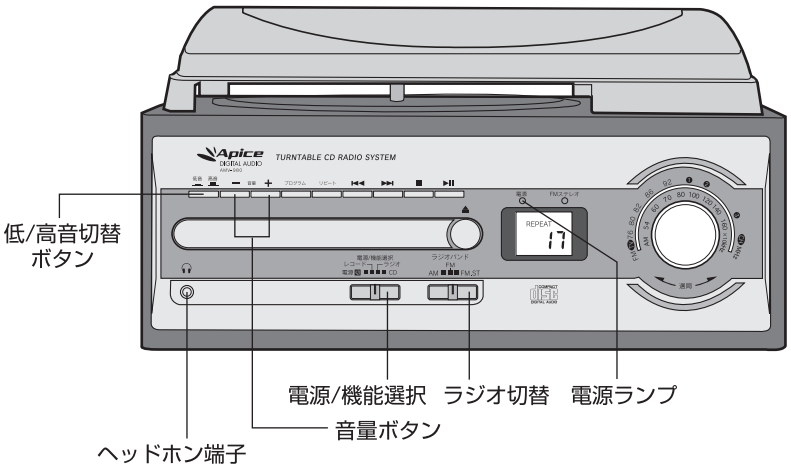
本機の準備する

まず、平らで安定を確認した場所に本機を置きます。
必ず片手を本体に添えて扉を開けてください。

万一本体が倒れると、故障の原因になり場合があります。
また大切なレコードも破損の原因になる場合があります。

使い方(基本編)

基本操作

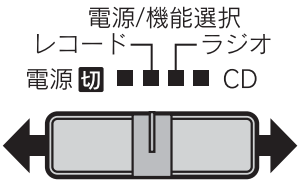


リモコン(CDのみ)

※単四乾電池×2本(別売)が必要です。
リモコン裏面の電池ふたを矢印の方向に引いて開け、乾電池を正しい向きに入れてください。

●電源を入れる

電源/機能選択を【レコード】【ラジオ】【CD】のいずれかに切り替えます。
電源ランプが点灯します。



●音量を調節する

音量ボタン【−】【＋】を押して調節します。

●電源を切る

電源/機能選択を【電源切】に切り替えます。

低音を効かせる

低/高音ボタンを押して、低音を選択します。

ヘッドホンで楽しむ

ヘッドホン端子にステレオミニプラグ(直径3.5mm)付きのヘッドホンを接続します。
ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音がしなくなります。
◎ヘッドホンをご使用になる時は耳を刺激しないよう、適度な音量でお楽しみ下さい。
また、小さな音量から徐々に上げていくように調節しましょう。

リモコンを使う

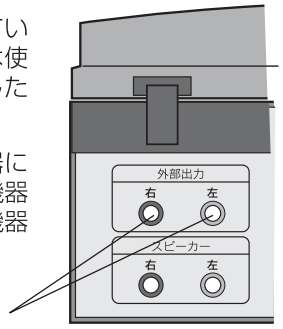
電源が入った状態でCDのみ対応しています。
レコード/ラジオの操作、音量調節などはリモコンでは操作できません。
単四乾電池×2本(別売)が必要です。

レコードについて

33/45/78回転のSP盤、LP盤等の再生に対応しています。特殊な形状のものや、回転数の合わないものは使用できません。貴重なレコードや経年劣化で変形したレコードなどは、使用しないで下さい。

外部出力端子を使う

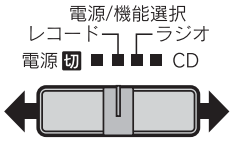
本体背面の【外部出力】端子に接続して、外部の機器に出力できます。レコード/CD/ラジオの音声を外部機器で録音する時などに使用します。使用方法は、外部機器の説明書をよくお読みの上、お使い下さい。



使い方(レコード編)

レコードをセットする

1 機能選択をレコードに切替えます
電源･機能選択を「レコード」に合わせます。



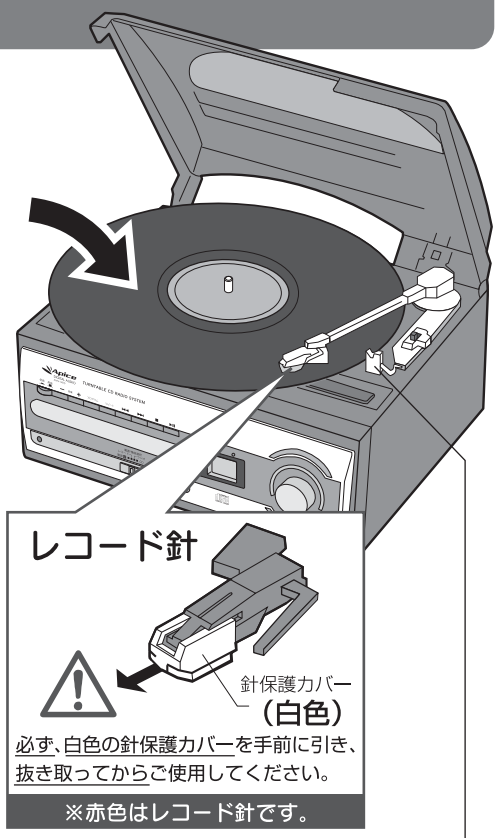
2 レコードをターンテーブルへセットする
聴きたい面を上にして、中心の突起軸にレコード穴を合わせてセットします。

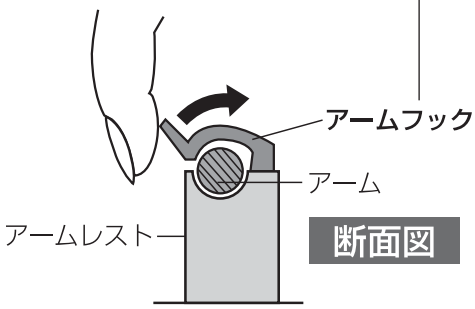
3 回転数切替を選びます。
レコードに合わせて33/44/78回転を切り替えます。

4 レコードフックをはずす
右図のように、アームフックをはずします。

5 レコードを演奏(再生)する
アームを持ち上げ、レコードの端にゆっくり下ろします。

1. 指でアームを持ち上げ、矢印の方向にゆっくり移動させてください。ターンテーブルが動き出します。
2. 演奏を開始したい所にアームを持っていきゆっくり下げ、指からアームを下ろせば演奏を開始します。
3. **演奏が終ったら、もとのアームレストに戻してください。(※指で引き上げて行います。自動では戻りません。)**



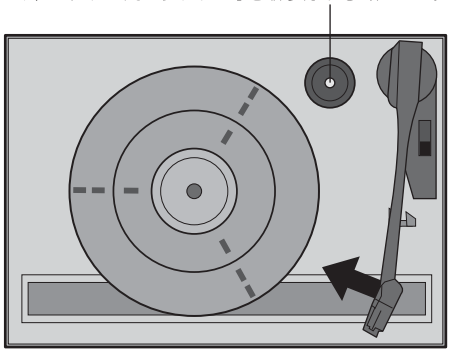


オートストップ機能について

オートストップ機能は、本体背面の切替スイッチで選べます。

自動停止スイッチ
ON OFF
オートストップ機能 (ON/OFF)

※ドーナツ盤をお聞きになる場合は、「ドーナツ盤用アダプター」を取り付けてください。



★ 音量を調節する
音量【−】【+】ボタンを押してお好みの音量に調節します。

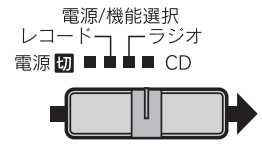
★ 途中で演奏を停止する
レコード上から、アームをゆっくり引き上げて、アームレストに収めます。
※オートストップ機能ON時は、回転が停止します。

使い方(CD編)

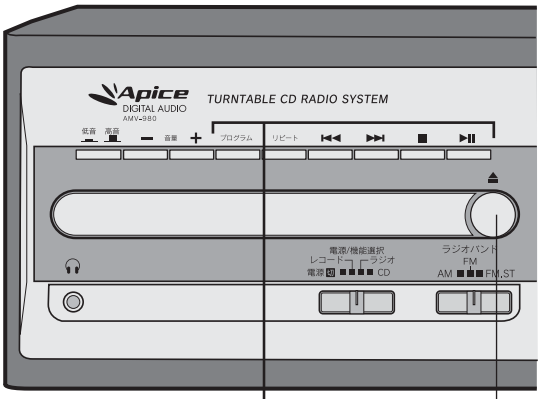
CDを聴く

1 機能選択をCDに切替えます

電源･機能選択を「CD」に合わせます。



●表示パネルに総曲数が表示されます。



CD操作ボタン　CD取出しボタン

2 CDをトレイにセットする

CD取出しボタンを押して、出てきたトレイにCDをセットします。もう一度、ボタンを押して戻します。

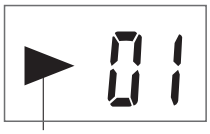
3 CDを演奏(再生)する

▶II ボタンを押して演奏を開始します。

4 演奏を停止する

■ ボタンを押すと演奏が停止します。

表示パネル



演奏中　曲番号

●その他の動作

演奏中に一時停止する	▶II ボタンを押す。もう一度押すと演奏がはじまる
演奏中の曲の頭出し	I◀◀ ボタンを押す
次の曲の曲の頭出し	▶▶I ボタンを押す
早送り	I◀◀ ボタンを押し続けて、止めたいところではなす
早戻し	▶▶I ボタンを押し続けて、止めたいところではなす
演奏を止める	■ ボタンを押す

●その他の演奏モード(CD)

REPEAT(リピート)モード

リピートボタンを**1回**押すと[**REPEAT**]が点灯します。ー1曲目だけを繰り返し演奏
リピートボタンを**2回**押すと[**REPEAT ALL**]が点灯します。ー全曲を繰り返し演奏

PROGRAM(プログラム)モード

登録した順に曲を演奏していきます。**最大20曲**まで登録が可能です。

最大20曲まで

プログラムボタンを1回押すと[P 01]と表示され、
次に右記のように点滅します。
1曲目に演奏させたい曲を I◀◀ ▶▶I ボタンで
選んでプログラムボタンを押します。
これで1曲目の登録ができました。

曲番

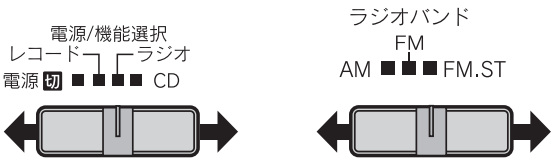
解除のしかた
■ボタンを押すと、プログラムを解除する事ができます。

これを繰り返して登録していきます。
お好きな所で ▶II ボタンを押して
演奏してください。

使い方(ラジオ編)

ラジオを聴く

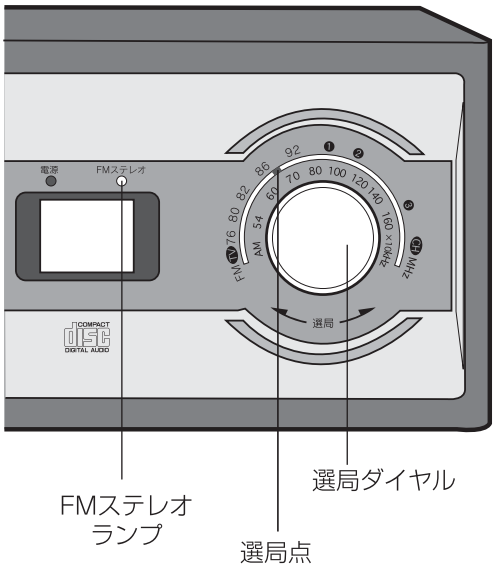
1 機能選択をラジオに切替えます
電源･機能選択を「ラジオ」に合わせます。



2 ラジオバンドを選びます
ラジオバンド切替【AM】【FM】【FMステレオ】から、
聴きたい放送局に合わせます。

3 選局します
選局ダイヤルを回して、聴きたい周波数(放送)の
受信状態の良いところを選びます。

※FM.ST(ステレオ)放送の場合、ランプが点灯します。
※周波数の数値は、あくまで目安です。



FM放送 選局ダイヤルの外周数値が、FM放送周波数になります。ステレオ受信をすると、「FM ステレオ」ランプが点灯します。

AM放送 選局ダイヤルの内周数値が、AM放送周波数になります。表示の数字(×10)で、周波数を合わせて下さい。

●ラジオの受信が悪い場合は・・・・・・

受信状態をよくする

FM放送の場合 リード線アンテナを伸ばして、向きや高さを受信感度の良い方向へ向ける。

AM放送の場合 本体内蔵型アンテナにつき、本体の向きや位置を受信感度の良い方向に移動させる。

●テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。
また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れるときがあります。
この様なときは、本機を離してご使用下さい。
●乗り物や鉄筋コンクリートの建物の中などでは、電波が弱まるため放送が聞こえにくくなることがあります。
できるだけ窓側でお使いください。

末永くお使いいただくために

【CDのお手入れ】

・指紋や手あか汚れ、ホコリの付着などは音質低下の原因になりますので、いつもきれいにお手入れを行って下さい。
・CD面をやわらかい布や専用のCDクリーナーでCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。
※専用のCDクリーナーを使用する際は、注意書に従って下さい。
・ベンジンやシンナー、静電気防止剤、食器用洗剤などはCDを傷めることがありますので使用しないで下さい。
・水気がついている場合は、よく拭き取ってから使用して下さい。

【本体のお手入れ】

汚れがついたときは、柔らかい布でからぶきしてください。
薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふくと汚れがよく落ちます。ベンジンやシンナーは本体を変質・変色させるので使わないでください。

※化学ぞうきんなどご使用される方は、その注意書をよくお読みの上、使用して下さい。
※水気がついている場合は、よく拭き取ってからご使用下さい。

シンナー、ベンジン、アルコール、
アルカリ洗剤、みがき粉は使用しない。

【注意】●安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてお手入れをして下さい。。
●CDをクリーニングする際は、市販の専用クリーナーを使用して下さい。

置き場所について

本機やCD等を次の場所に置かないで下さい。
・磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
・テレビの近く

レコード等を次の場所に置かないで下さい。
・直射日光にあたる高温多湿の場所
・ホコリの直接かかる場所

取扱いについて

・CDぶたをあけたまま放置しないで下さい。内部にゴミやホコリが入り、故障の原因になることがあります。
・本機のスピーカーは強い磁気を発していますので、次のようなものは本機のそばに置かないで下さい。
　ー時計
　ークレジットカードなどの磁気カード
　ーカセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
・カセットデッキを長期間ご使用されなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。良い状態でお使いいただけます。

長期間使用しない場合

・本機をビニール袋などに包み込み、お買い上げ時の箱などに収納して保管してください。
・収納前後には、電源コードの傷みや破損部などの確認を行って下さい。

廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないで下さい。

修理を依頼される前に

使用方法を間違えたり誤ると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。
お買い上げの販売店または、当社にご相談になる前に、下記の表でチェックしてください。

基本的なトラブル

症　状	原　因	処置･確認
音が出ない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていない	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているか確認して下さい
	電源/機能選択が切になっている	**電源/機能選択を切り替えて電源を入れる**
雑音が入る	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している	携帯電話などを本機から離してください

レコードでのトラブル

症　状	原　因	処置･確認
演奏できない	針先にホコリが溜まっている	清掃してホコリを取り除いて下さい
	保護カバーをはずしていない	**保護カバーを取り外してください**
雑音、音質が悪い	回転数が合っていない	回転数を換えてみてください
	レコード針が摩耗している	新しい針と交換して下さい

CDでのトラブル

症　状	原　因	処置･確認
演奏がはじまらない	ディスクが正しくセットされていない	レーベル面を上にし、正しくセットする
	ディスクが汚れている	ディスクを清掃する
	つゆつきがおきている	電源を入れた状態で一時間程待ってから演奏を開始する
	ファイナライズ処理をしていないCD-R/CD-RWを使用している	ファイナライズ処理されたCD-R/RWを使用する また、CD-R/RWでは、ディスクや記録装置により再生できないものがあります。

ラジオでのトラブル

症　状	原　因	処置･確認
ラジオ受信時にサッーという音が出る 雑音が入る	アンテナの向きが合っていない 電波が悪い。	アンテナの向きを調節する
	外部から雑音を拾う	テレビや蛍光灯などの他の電機製品から離す
	電波が弱い **ラジオの選局がずれている**	**アンテナの方向を変えてみる** **ラジオ選局つまみを回して調節する**
	テレビの近くで使用している	テレビから離して使用して下さい

※よくある項目は、太字で表記しています。

レコード針のご購入を希望される方へ

レコード針のご購入を希望されるお客様は下記の方法で販売させて頂きます。

商　品	AMV-980用　レコード針
お届け・お支払い	宅配業者・代金引換 （商品が着いたら、宅配ドライバーに代金をお支払い頂く便利なシステムです）
ご注文先	株式会社アピックスインターナショナル
ご注文方法	お電話、またはFAX　TEL:0120-350-352 FAX:0587-38-5323

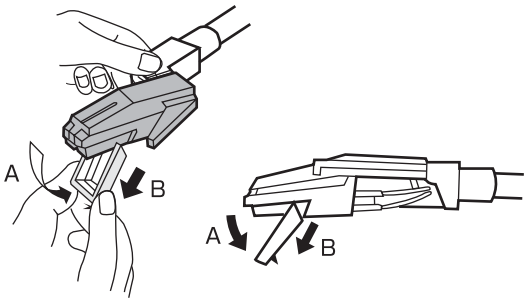
《《お名前・郵便番号・住所・電話番号・希望数量をお教え下さい。》》

【例】　1本 1,050円　＋　送料650円（代引手数料込み）＝　合計1,700円(税込)
【例】　2本 2,100円　＋　送料650円（代引手数料込み）＝　合計2,750円(税込)
【例】　3本 3,150円　＋　送料650円（代引手数料込み）＝　合計3,800円(税込)

※まとめ買いをされた方が送料分お得です。

レコード針の交換方法

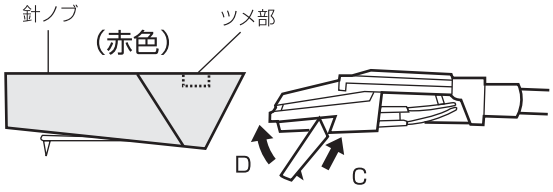
●はずし方



【1】針ノブ(赤色)の先端部を持って矢印Aの方向に引き下げます。
【2】次に矢印Bの方向へ引いて、ツメ部を外します。

※イラストは若干異なる箇所があります。

●入れ方



【1】針ノブのツメ部をカートリッジのツメ受け穴に合わせてから矢印Cの方向へ差し込みます。
【2】針ノブ先端部を矢印Cの方向へ軽く押しつけながら矢印Dの方向へ持ち上げます。パチッと音がするまでしっかりとはめてください。

製品のお問い合せ
アフターサービス等
フリーコール 0120-350352

営業時間：(平日)月曜日～金曜日（午前10:00～11:30 / 午後1:00～ 5:00）
※祝祭日を除く

製品仕様

外形寸法	約(幅)546×(奥行き)358×(高さ)195<mm>	スピーカー	フルレンジ4.0cm×2個　0.65kg
本体重量	約6.3kg	インピーダンス	4Ω
電源	AC100V　50/60Hz	出力	2W×2
消費電力	20W	接続端子	ヘッドホン端子(φ3.5mm)、外部出力端子(R/L)

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクプレーヤー
信号読み取り方	非接触光学方式(3ビームレーザー)
エラー訂正方式	CIRC
チャンネル数	SONY TYPE3 99
周波数	80Hz～15KHz
ワウ･フラッター	0.1%以下

レコードプレーヤー部

形式	3スピード切替付きプレーヤー
回転数	33回転、45回転、78回転
動作機能	オートストップ機能(ON/OFF)

チューナー部

受信周波数	FM:76.0～MHz　TV.1.2.3
	AM:540～1600KHz
アンテナ	FM/リード線アンテナ AM/内蔵型

※製品仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

1.保証書

この取扱説明書には保証書が付いています。
保証書はお買上げの販売店で「販売店名･お買上げ日」等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。　保証期間はお買上げ日より1年間です。

2.修理を依頼される時

＊保証期間中は商品に保証書を添えてお買上げ販売店にご持参ください。
　保証書の記載内容により、無料修理致します。
＊保証期間が過ぎている時はお買上げの販売店にご相談ください。

3.補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年間です。補修用性能部品とは、
その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4.アフターサービスについてご不明の場合

アフターサービスについてご不明の場合には、お買上げの販売店か弊社にお問い合せください。

この製品の故障･誤動作･不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、
当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●本製品以外(レコード等)の損害
●再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害

製品のお問い合せ
アフターサービス等
フリーコール 0120-350352

営業時間:(平日)月曜日～金曜日
※祝祭日を除く　午前10:00～11:30
　　午後1:00～ 5:00

保証書

持込修理

品名 レコードCDラジオコンポ	お客様	ご住所 〒□□□－□□□□
品番 **AMV-980**		フリガナ
保証期間・部分 1年間/本体のみ 期間（お買い上げの日から）		お名前 様
※お買い上げ日		お電話 （ ）
年 月 日		

＊販売店
店名
住所
電話

※記載漏れがある場合は保証しかねますので、ご注意下さい。

株式会社アピックスインターナショナル
〒482-0015 愛知県岩倉市川井町薬師堂77番地
電話 0587-38-5320 FAX 0587-38-5323

本書はお買上げの日から保証期間中に故障が発生した場合には本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。

※本機プレーヤー以外の、ご使用のレコードのキズ等での補償は致しかねます。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合は、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼下さい。無料修理させて頂きます。
2. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。

   (1) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
   (2) お買い上げ後の落下や運送上の故障および損傷。
   (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、その他の天災地変による故障および損傷。
   (4) 本書のご提示がない場合。
   (5) 本書に、お客様名、お買い上げ日、販売店名の記入のない場合。あるいは字句を書き替えられた
   (6) 場合。
   (7) 車両や船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
   (8) 一般家庭以外（たとえば業務用など）にご使用の場合の故障および損傷。
   (9) ご使用後のキズ、変色、汚れ、及び保管上の不備による損傷。消耗部品の交換。

3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談下さい。
5. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、お問い合せサービスセンターへご相談下さい。
6. 本書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げの販売店またはお問い合せサービスセンターまでお問い合せください。

修理メモ

年 月 日	サービス(修理)内容	担当者